

## 550万人と共に創る「力強い農業」と 「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

### 北海道農協青年部協議会 参与 黒田 栄継 氏

「力強いマンシヨン」

「豊かな魅力ある農村」の

実現に向けた組合員の役割

昨年、全青協会長の立場で、JAGグループ自己改革の審議に関わった。



### 黒田 栄継 氏

(くろだ よしつぐ)

北海道農協青年部協議会 参与  
全国農協青年組織協議会 参与

その中で、国民合意を形成しているころという時の世間からの風当たりは皆さんの想像以上のものがあつた。

農協改革は、なんとなく落ち着いているような雰囲気だが、5年経ったら色々また始まる。何も終わっていない。

その中で、今回の大会で何を決めて何を指すか。現場の青年部としても自己改革を作っていくなかで何をして、何を望み、自分たちは何を考えるのかを議論してきた。

やはり、農協の営農経済の事業を改めて確立していくということになる。

北海道は、全国的にみるとダントツに確立できているが、改めて北海道が全国のインシアチブをとるくらいのことをしていく。

そのためには、職員、役員だけでなく、組合員がしっかりとそこに気づいて、改めてJAGグループ全体でやるという雰囲気をつくっていくことが大事。

組合員教育という言葉に怒り出す組合員も非常に多いが、避けては通れない。私も青年部参与として関わっているのも、青年部でも、しっかりと共有認識をもって今後一緒に事業をつくっていくべき。

### 「550万人と共に創る」

550万人と謳ったからにはかなりのことを展開しないといけない。多くの人と繋がるためには、皆が力を出していかないとけない。

組合員と一体となり、全体で前に進む姿を作っていくべきというものが、現場のひとりとしての決意だ。農協は良いところがたくさんあるし、私もそれにお世話になつてきた。

しかし、良いところは、実は私たちにとっては当たり前存在しており、良いと改めて考える必要がなく、わざわざそれを褒めることもなかった。

農協改革がここまで押し込まれた理由の1つに、自分たちの良さを自分たちで語れたかということがあつたかと思う。内部においては気づかない。色々な人と関わることで自分たちの価値観が明確になる。

消費者に農業の本当の価値がしっかりと伝わっていないのではないかと感じる。農業者一人一人が価値を伝えていく。これだけ距離があいてしまった社会では、絶対的に私たちがやらないと次のステップに進めない。

大会議案の実践方策に何をすることが書かれているのは本当に素晴らしい。是非、これを色々な人と手を組んで実現できたら良いなということを改めて思っている。

### 最後に一言

550万人とつながるといふ取り組みについて、全道各地青年部また女性部は、本当にたくさん取り組みをしている。

JAGグループ全体でその取り組みを広げていき、私たち青年部、女性部は、みなさんと一緒にやっていくので、頑張っていきたいと思います。

